

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <https://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL : 048-873-0216 FAX : 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

「12の不思議」

校長 小長谷 雅彦

中尾小は子どもたちの外遊びが盛んです。先日のロング昼休みでは、真冬ですが暖かったこともあり、多くの子どもたちが校庭で群れて遊んでいました。昨今の状況でコロナ禍もあり、校庭の使用場所などの制限が少ない状況で、群れて遊ぶことができるのは、中尾小のよい子だからできることであり、久しく使っていなかった「群れる」という表現ができることに嬉しさを感じています。



さて先日、3年生の国語「十二支と月のよび名」という単元の研究授業を参観しました。その中で身の回りで「12」が使われているものにふれる内容があり、私も興味をもって調べてみました。みなさんは、「12」に関係するものと聞かれて何と答えますか？

まず、年月、時間において、1年は12ヶ月。星座は、12個の月に対応するような形で12個。干支も、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥の十二支あります。新約聖書では、キリストによって特別の伝道の使命を与えられた12人の使徒がいることやギリシア神話には、オリンポス山頂に12神が住んでいると伝えられています。このように、日本だけでなく、世界各地で昔から数字の「12」が使用されています。古代の人々は自然を観察する中で、月が地球の周りを1年間にほぼ12回転することから、「12」という数字に自然に特別な意識をもつようになり、天体の運行を観察する中で、1年を12の月に分けることが行われ、この「12」がそれ以外の生活のいろいろな場面で使われるようになったと考えられているそうです。

その他には、英国や米国の陪審員は12人であること。音楽では、元の音から半音ずつ音を高くしていくと12番目に1オクターブ上の音になります。(ピアノの鍵盤で、1オクターブのドからシまでに、白が7個と半音の黒の5個の合計12個の鍵盤がある。ギターでは同じ弦の12フレット上で1オクターブ上の音になる。) 1ダースは12個、1グロスは12ダース。算数的には「10」は1と10以外には2と5の2種類の数でしか割ることができませんが、「12」なら2、3、4、6の4種類の数で割ることができ、均等に分けやすく、バランスのとれた単位として「12」は便利な数字としてとらえられています。このように調べてみると「12」がいろいろな場面で使われていることが分かりました。

いよいよ2月。間もなく立春を迎え、日も延び始めました。各クラスでは進級や進学に向けて1年間のまとめの時期になります。これからも教育活動の充実に努めてまいりますので、皆様のますますのご支援とご協力を、よろしくお願い申し上げます。